

[前回講義の積み残しを終えた後に]

EU 法の直接適用可能性

- 国際法の直接適用可能性に関する一般的議論¹
- [Van Gend en Loos 判決](#)²

EU 法の優越性

- 国内法秩序における国際法の階層的位置づけに関する一般的議論³
- [Costa/ENEL 判決](#)⁴

EU 構成国国内裁判所の反応

- [ポーランド憲法裁判所 K 3/21 判決 \(英訳\)](#)⁵

以上

¹ 酒井啓亙ほか『[国際法](#)』(有斐閣、2011年)第4編第5章、佐藤幸治『[日本国憲法論 \(第2版\)](#)』(成文堂、2020年)第1編第3章第2節。

² 『[判例国際法 \(第3版\)](#)』9A、中村民雄・須網隆夫(編)『[EU法基本判例集 \(第3版\)](#)』(日本評論社、2019年)1。

³ 注1の文献。

⁴ 『[判例国際法 \(第3版\)](#)』9B、中村民雄・須網隆夫(編)『[EU法基本判例集 \(第3版\)](#)』(日本評論社、2019年)2。

⁵ 吉沼啓介「[欧州委、ポーランド憲法裁判所の判断に懸念、EU予算執行にも影響か](#)」JETROビジネス短信 2021年10月12日、市川顕「[ポーランド：強い欧州の中の強いV4](#)」岡部みどり(編)『[世界変動と脱EU/超EU](#)』(日本経済評論社、2022年)第5章。